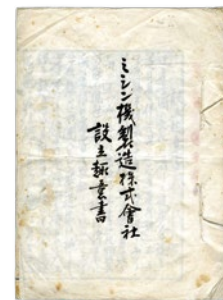


ブラザーの使命

ブラザーグループは、あらゆる場面でお客様を 第一に考え、モノ創りを通して優れた価値を 創造し、迅速に提供することを使命としています

あらゆる場面でお客様を第一に考える“At your side.”の精神は、創業から受け継がれるブラザーグループの基本精神です。常にお客様の立場でニーズにお応えすることを価値創造の原点とし、変革を恐れずに時代や環境の変化に対応しながら価値を創造し続けてきました。その精神は、これからもブラザーグループの価値創造の原点であり、顧客価値の創造を通じて、社会課題の解決を図り、社会の発展に貢献していきます。

1908



設立趣意書

創業の精神

- 一、働きたい人に仕事をつくる
- 一、愉快な工場をつくる
- 一、輸入産業を輸出産業にする

すべての創造の原点は、“At your side.”

1908年にミシンの修理業から始まり、創業者である安井兄弟は修理を通じて得た製品知識を生かして、壊れにくい国産ミシンを作るために、ミシン本体の開発に取り組みました。生産設備を買う資金がないため、自分たちで工場を整備しながら創意工夫をこらし、1928年、念願の「麦わら帽子製造用環縫ミシン」を完成させました。発売したミシンは高い耐久力を持つと評判を呼び、お客様に喜ばれ、また国内産業の活性化にも貢献しました。

ブラザー工業の前身となる「日本ミシン製造株式会社」は、1934年に設立されました。設立趣意書には、ミシン国産化を志した動機が示され、起業による社会課題解決への熱い思いが込められていました。事業を通じて社会へ貢献するという「創業の精神」が受け継がれ、現在は“At your side.”な企業文化が、世界中の従業員に浸透しています。

ブラザーグループ グローバル憲章

ブラザーグループは、“At your side.”の精神のもと、事業を通じた社会価値の創出を目指しています。その基盤となるのが「ブラザーグループ グローバル憲章」（以下、グローバル憲章）に示された、お客様を第一としたステークホルダーの皆さまとの長期的な信頼関係の構築です。グローバル憲章は、グローバルに展開するブラザーグループのあらゆる活動の礎であり、グループ各社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に対する「基本方針」と「行動規範」から成り立っています。

40以上の国と地域で活躍するすべての従業員が、グローバル憲章を理解し、常に意識できるよう、従業員の母国語である計28言語に翻訳し、世界中の従業員と共有し、浸透活動を実施しています。

グローバル憲章の基本方針に基づき、事業を成長させ社会的責任を果たすことで、ステークホルダーの皆さまとの長期的な信頼関係を構築しています。



ブラザーグループ グローバル憲章

into the future

At your side.

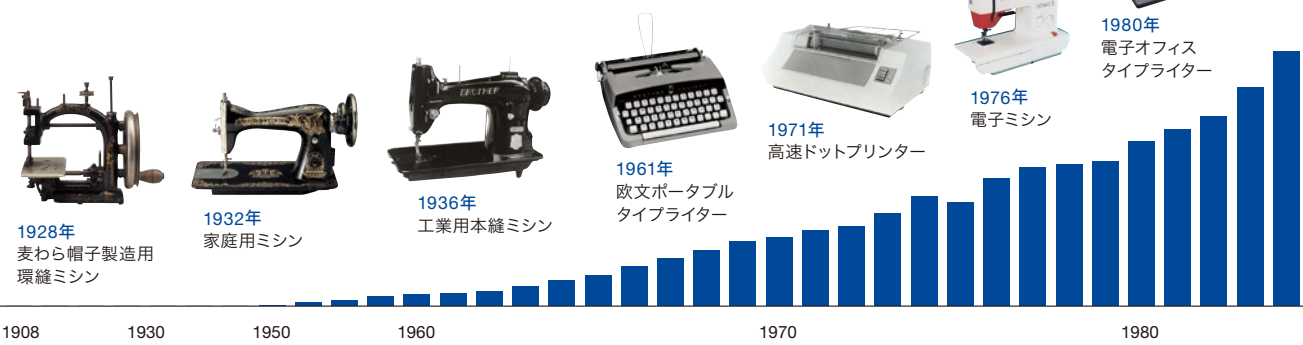


ブラザーの歴史

お客様と社会のニーズに応え、
事業を革新し、成長してきた軌跡

独自の技術開発に注力し、蓄積したコア技術を駆使して、事業の多角化を推進するとともに、変化を捉え、常に新しい市場を生み出すことで成長してきました。
あらゆる場面でお客様を第一に考えた、ユニークでオリジナリティーのあるモノ創りが成長の原動力となっています。

売上収益推移



ニーズを背景にした成長のターニングポイントと培ってきた強み

創業～

ミシンの国産化とコア技術の応用による多角化

1908年、創業者兄弟の父・安井兼吉がミシンの修理業で創業。当時の日本は精密工業製品であるミシンを輸入に頼っており、不況で仕事がない中、家業を助けていた長男の正義は「働きたい人に仕事をつくる」「ミシンの国産化を実現し、輸入産業を輸出産業にする」ことを決意。兄弟で力を合わせ、1928年に麦わら帽子製造用の環縫ミシンを開発。1932年には念願の国産家庭用ミシンを完成させた。その後1947年にミシンを初輸出。1954年には米国に拠点を設けるなど海外展開も果たした。またミシンで培った技術を生かし、多角化に着手し、編機や洗濯機、掃除機などの家電機器を開発した。

培った強み

- ▶ 創業の精神
- ▶ プレス技術・精密加工技術
- ▶ 自社海外販売ルート
- ▶ コア技術の活用

1960年～

事務機分野進出と自前主義で磨いた工作機械開発

米国市場のニーズの高まりを受け、1961年にポータブルタイプライターの生産を開始。手ごるな価格で他社に引けをとらない性能が好評を博し、事務機のブラザーとしての基盤をつくった。また「製品をつくる機械も自社でつくる」という考えのもと、創業時より自社で開発していた工作機械の外販事業を開始。優れた加工性能から、タッピングマシンがロングセラーとなった。1966年にはエレクトロニクス技術を用いた初の製品として電卓を開発し、事務機分野を強化。欧州での自社拠点の整備を進めるとともに、1968年にイギリスの大手ミシンメーカーを買収するなど、海外事業を拡大した。

培った強み

- ▶ 海外顧客のニーズを取り入れた製品開発
- ▶ 事務機分野の開発力、量産体制
- ▶ 工作機械分野の精密加工技術
- ▶ 海外拠点の拡充と市場開拓力

1970年～

情報機器分野進出とメカトロニクスの推進

小型コンピュータ（ミニコン）の普及が進む中、ミニコンに対応するプリンターの選択肢が限定されているのに着目し、1971年に米国のベンチャー企業・セントロニクス社と共同で高速ドットマトリクスプリンターを開発。新たな市場を創出し、その後の情報機器事業拡大のきっかけとなった。各製品の電子化も次々と進め、1979年には業界初の家庭用コンピュータミシンを、1980年には電子オフィスタイプライター発売。加えて工作機械分野においても、NC工作機械を相次いで発売し、メカ技術にエレクトロニクス技術を加えた「メカトロニクス」への転換を図った。

培った強み

- ▶ 共同開発により新事業を創出する力
- ▶ ドットインパクト印字技術
- ▶ 電子化によるメカトロニクス技術
- ▶ コンピューター制御技術

1980年～

プリンティング技術の蓄積と事業変革

1981年、ロサンゼルス五輪のオフィシャルサプライヤー契約を機に、グローバルにブランド戦略を展開。1982年にはサーマル印字技術を採用した世界最小の電子パーソナルプリンター、1984年には業界初の普及型日本語ワードプロセッサを発売するなど、ユニークな製品が話題を集めた。この開発プロセスで培ったサーマル印字技術や仮名漢字変換技術を応用し、1988年にラベルライターを発売。ピータッチのブランド名で新市場を創出した。また貿易摩擦や円高に対応するべく、海外生産を拡大。事業の集中と選択にも着手し、家電・楽器事業から撤退するとともに、情報通信分野への投資を強化した。

培った強み

- ▶ グローバルブランディング
- ▶ サーマル印字技術
- ▶ 為替変動対応力と海外生産力
- ▶ 情報通信技術

1990年～

通信カラオケの開発と情報通信機器の拡大

パソコンソフトの自動販売機の開発で培ったコンテンツ配信技術を活用し、1992年に業界初の通信カラオケを発売。また同年、個人オフィスや小規模オフィス向けに開発し、機能を差別化した上で価格を抑えたファクス・プリンター・コピーなどの機能を一台に集約した小型複合機を発売。レーザーおよびインクジェット方式をラインアップに加え、新興のオフィス向け製品の量販店の拡大とともに事業を急拡大させた。グローバルでの最適調達・最適生産を目指し、アジアでの情報通信機器の生産を開始するとともに、販売会社の資本を再編し「つくる・売る」を一体化させた。

培った強み

- ▶ コンテンツ配信技術
- ▶ 電子写真技術・インクジェット印字技術
- ▶ ビジネスパートナーとの協業
- ▶ グローバル調達・生産体制

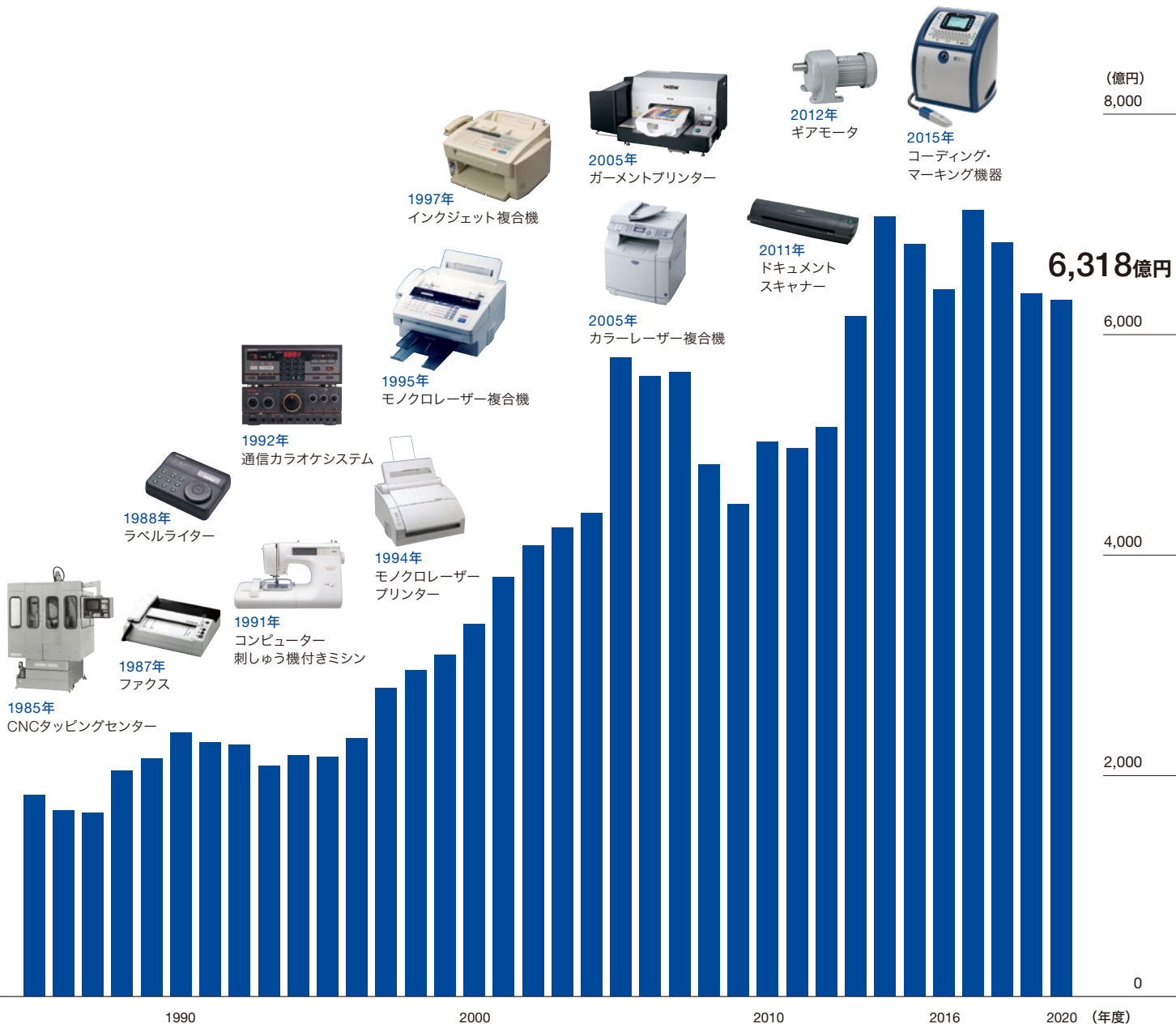
2000年～

情報通信機器の拡大と事業ポートフォリオ強化

中国に加え、ベトナム、フィリピンでの生産を開始し、欧州に消耗品のリサイクル拠点を設けるなど、グローバルに生産基盤を強化。販売拠点も拡充し、グローバルベースで事業基盤を整備。情報通信機器を中心に事業規模を大幅に拡大した。2002年には中長期ビジョンを策定。2008年にはすべての活動の礎であるグローバル憲章の改定を行い、「At your side.”な企業文化を定着させた。またM&Aにより、モバイルプリンターや減速機などを事業ポートフォリオに加え、2015年にはイギリスのドミノプリンティングサイエンスの全株式を取得し、産業用印刷事業に参入。産業用領域での事業拡大を推し進めている。

培った強み

- ▶ グローバルな事業基盤
- ▶ “At your side.”な企業文化
- ▶ M&Aにより強化された事業ポートフォリオ
- ▶ 産業用印刷分野の開発・販売力



※ 2015年度以前は日本会計基準の売上高、2016年度以降は国際会計基準 (IFRS) の売上収益を掲載しています。

ブラザーの強み

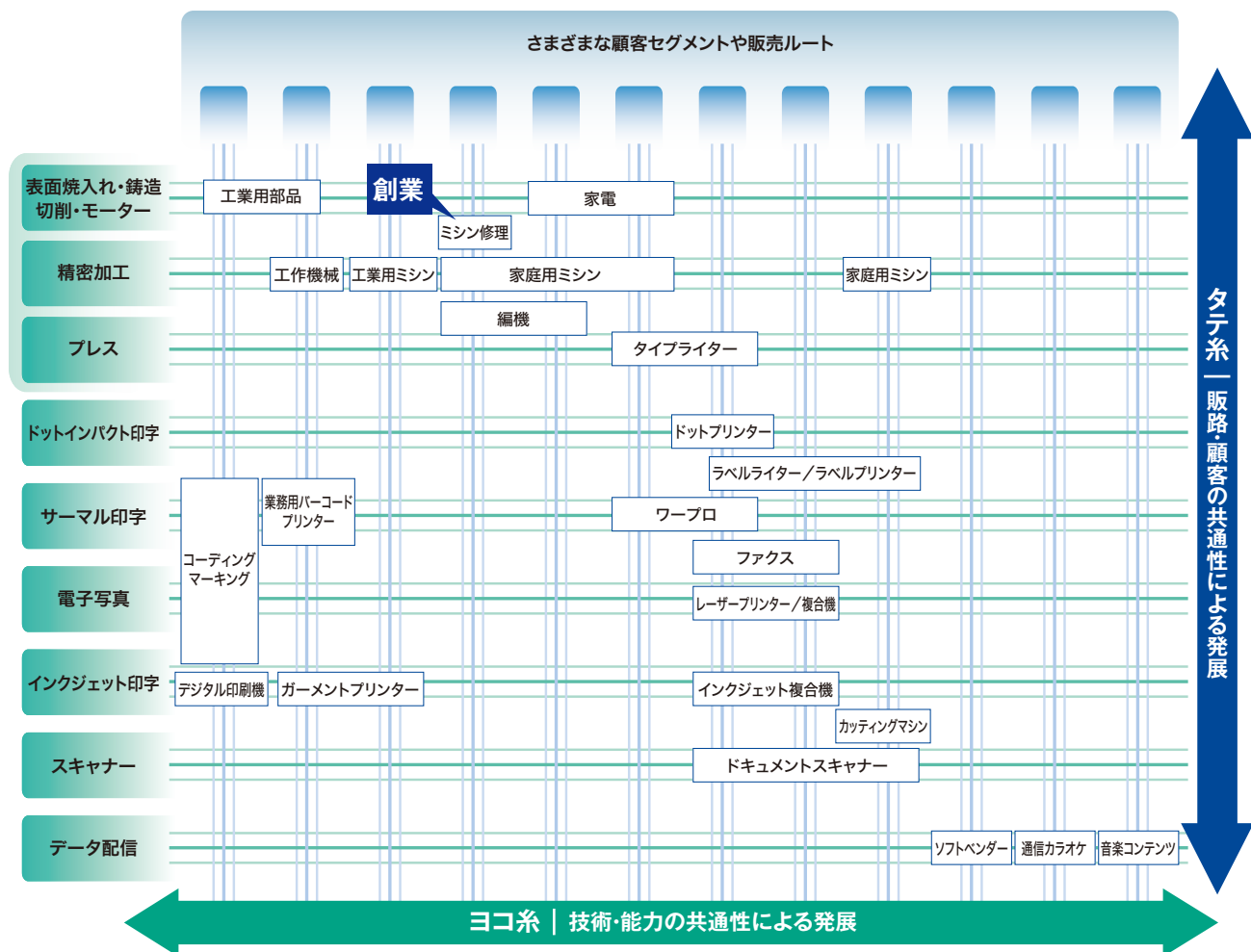
多様な独自技術とグローバルネットワークを
強みに、生産性の向上と創造性の発揮を、
すぐそばで支えます

強み

1

新しい価値を生み出す多様な独自技術

創業以来、ブラザーはお客様や市場のニーズの変化に対応するため、さまざまな顧客セグメント・販売ルートや技術・能力の共通性を生かし、新たな事業を生み出してきました。この連続性をタテ糸・ヨコ糸とし、織りなされた広がり、事業領域を越えて協力し合う企業文化や技術の組み合わせによる新しい価値創造、これがブラザー独自の強みとなっています。



強み

2

ニーズに応じて迅速な価値提供を可能にする
グローバルネットワーク

ブラザーはこれまで、40以上の国と地域に開発・生産・販売・サービス拠点を拡大してきました。そのグローバルネットワークを生かした、お客様のニーズに対応する柔軟性、製品・サービスを迅速に提供する小回り力、効率的なネットワークによるコスト競争力も強みの一つです。今後も、外部からの学びやパートナーとの連携を生かし、グローバルチームブラザーで優れた価値を迅速に提供していきます。



ブラザーの事業

培った強みを生かし、事業を通じて
お客様の生産性の向上と創造性の発揮に貢献します

ブラザーグループは、お客様のニーズに応えるために、
変革の歴史の中で培った強みを生かしながらモノ創りを通して事業を成長させてきました。
現在では、「プリンティング・アンド・ソリューションズ事業 (P&S)」「パーソナル・アンド・ホーム事業 (P&H)」「マシナリー事業」「ネットワーク・アンド・コンテンツ事業 (N&C)」「ドミノ事業」の5つの事業を通して、
お客様の生産性の向上と創造性の発揮に貢献することで顧客価値の拡大を図っています。

連結売上収益 **6,318億円** (2020年度)
※ 主要事業5つとその他事業の合計

提供価値	
■ オフィスでの最適製品・最適配置の提案により、お客様の生産性向上とコスト最適化を実現 ■ コンパクトで省電力なプリンターによる省エネルギーの実現 ■ リサイクル可能なトナーボックスによる省資源の実現 ■ ラベルプリンターでつくるさまざまな認識ラベル活用による業務の効率化	

ブラザーの事業	
60.9% プリンティング・アンド・ソリューションズ事業 P&S P.20-21 参照	プリンター／複合機、ラベルライター、スキャナーなどを提供し、全体売上構成比の6割を占め、収益力の要となっています。SOHO市場におけるパイオニアとして培った技術を生かし、現在も品質・パフォーマンスが高く評価され、多くのカテゴリでグローバルにシェアを維持・拡大しています。

8.5% パーソナル・アンド・ホーム事業 P&H P.22-23 参照	家庭用ミシン、カッティングマシンなどを中心に展開し、特に家庭用ミシンは、電子技術の強みを生かし、最先端の機能を使いやすい形で提供することで市場をリードしてきました。高級機から普及機までの売上総額において圧倒的なグローバルNo.1を維持し、新たな「つくる楽しみ」を提供しています。
---	--

12.5% マシナリー事業 Machinery P.24-25 参照	工業用ミシン、ガーメントプリンター、工作機械、減速機・歯車などを提供しています。高品質な縫製を実現した工業用ミシン、精細な印刷品質を生み出すガーメントプリンター、自動車や二輪車、スマートフォンなどの部品加工に最適な工作機械に加えて、幅広い製品バリエーションを持つ減速機や歯車などを通じて、お客様の生産性向上と新たな価値創造に貢献しています。
--	---

4.9% ネットワーク・アンド・コンテンツ事業 N&C P.26-27 参照	業務用通信カラオケシステム「JOYSOUND」など、通信カラオケのパイオニアとしての配信技術を活用したサービスや製品・コンテンツを提案し続けることで、新たな顧客価値を追求しています。カラオケ店舗の運営も手掛けており、ウィズコロナの新しい生活様式を踏まえ、ビジネスモデルの変革と事業の再拡大を目指します。
--	--

11.1% ドミノ事業 Domino P.28-29 参照	ペットボトル、缶、食品包装などに、賞味期限、ロット番号などを印字するコーディング・マーキング機器と、商品パッケージの多種少量化や短納期化といった要請に応えるデジタル印刷機を提供することで、工場における生産性向上に貢献しています。産業用印刷領域では、ブラザーとイギリスのグループ会社 ドミノプリンティングサイエンスのシナジーを強化し、次世代の柱となる事業にしていきます。
---	---

■ 工業用ミシン：高い生産性と自動化提案により、お客様への価値提供を促進 ■ ガーメントプリンター：高速化と高い印刷品質でDTG※市場でのプレゼンスを拡大 ■ 産業機器：コンパクトな工作機械による、生産性向上と省エネルギーの実現 ■ 工業用部品：高剛性減速機や高精度歯車により、多様な自動化・省人化ニーズに貢献	
---	--

■ 生産者にとってサステナブルで無駄のない生産の実現 ■ 情報を付加することによる消費者への安心・安全の提供 ■ デジタル化促進による働きやすい職場の提供	
--	--

※ Direct to Garment(インクジェットプリンターによる服飾品への直接印刷)	
---	--

※ 主要事業5つとその他事業の合計	
-------------------	--

生産性の向上

ワークスタイルの変化を先取りした製品やサービスにより、オフィスワークの効率化、快適なビジネス環境を支えています。また産業用領域では、省電力、省資源の実現とともに、自動化の推進やトレーサビリティ、カスタマイズ需要の高まりにお応えしています。

創造性の発揮

縫製や刺しゅう、クラフトなどの手作りの楽しさを広げるとともに、カラオケコンテンツによる歌う喜びの提供など、趣味やエンタテインメントの可能性を広げ、彩りのある充実した生活をサポートしています。

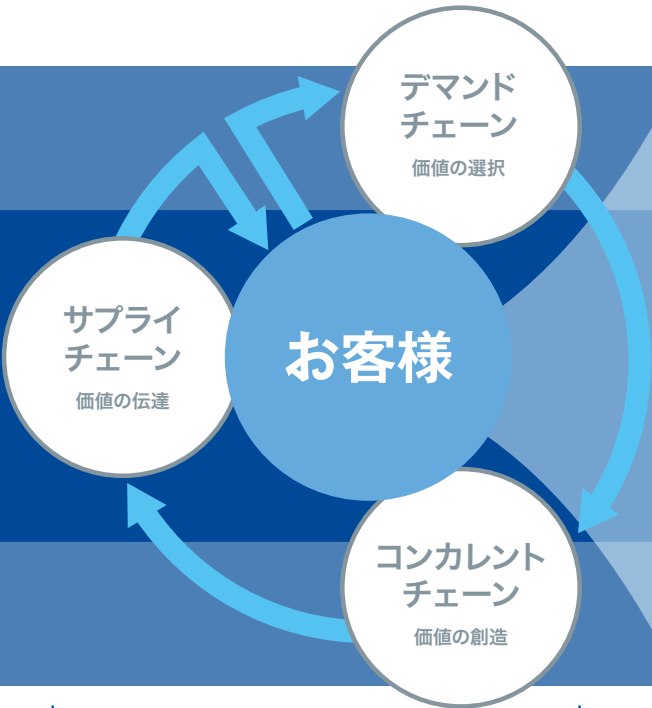
顧客価値の拡大

“At your side.”の精神を軸に、
顧客価値を拡大することにより、
社会の発展と地球の未来に貢献し、
持続的成長を図ります

強み 多様な独自技術/
グローバルネットワーク
P.06-07 参照

At your side.
ブラザーグループ グローバル憲章

経営基盤 人材、研究開発・知的財産、
生産、販売・サービス
P.30-33 参照



ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント
(BVCM)

P.16 参照

ブラザーグループの価値創造の源泉はあらゆる場面で
お客様を第一に考える“*At your side.*”の精神です。
世界中のブラザーグループが“*At your side.*”の精神を軸とし、
お客様を中心としたブラザー独自のマネジメントシステム
「ブラザー・バリュー・チェーン・マネジメント」(BVCM)を実践することで、
お客様の生産性の向上と創造性の発揮に貢献しています。
この顧客価値の拡大を通して、さまざまな社会課題解決に取り組むとともに、
社会の発展と地球の未来に貢献し、企業として持続可能な成長を果たしていきます。

生産性の向上と
創造性の発揮

顧客価値の拡大

生活の質向上

多様な人々が活躍できる
社会の実現

責任ある
バリューチェーンの追求

CO₂排出削減

資源循環

生物多様性保全

社会の発展と地球の未来への貢献